

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 みきのたからもの □ 57~73

お話を読んで、「みきのたからもの」とは何なのか、考えてみてね。



- カードを拾ったみきが、遠い星からやってきたナニヌネノンと出会うお話です。
- 登場人物の行動や様子を読み取り、したり言ったりしたことの原因を考えます。
- 1 落とし主を探して公園に入ったみきは、見えない生きもの(ナニヌネノン)と出会う。カードは、ナニヌネノンが乗ってきた乗り物を動かすために必要なものだった。
- 2 見送りの目印にとリボンを渡すみきに、ナニヌネノンは小さな石を渡す。

1年 たぬきの糸車 □ 44~55

- おかみさんのまねをする、いたずらたぬきのお話です。
- たぬきの様子や、おかみさんのためきに対する気持ちを読み取ります。
- 1 おかみさんが糸をつむいでいると、障子にそのまねをするたぬきの影が…
- 2 ある晩、おかみさんは、わなにかかったたぬきを助けてやった。
- 3 冬の間留守にして、春に小屋に戻ると、たぬきが上手な手つきで糸をつむいでいた。



4年 友情のかべ新聞 □ 65~83

東君と西君の様子を見て、「ほく」は、どんなことに気づいたんだろう。



- クラスの仲の悪い二人が起こした出来事の秘密を、「ほく」が推理する物語です。
- 1 東君と西君は、好きなものが正反対で、とても仲が悪い。
- 2 そんな二人に対して先生が、協力してかべ新聞を作るように言う。クラスのみん中は、無理だと予想する。
- 3 かべ新聞が掲示板に貼られ、二人は一緒に行動するようになる。
- 4 クラスのみん中は、二人が仲良くなったのだと言う。しかし、「ほく」には気になることが…。

3年 三年とうげ □ 65~80

- 峠で転んだおじいさんの物語です。場面ごとの登場人物の気持ちの変化を読み取ります。
- 1 三年峠で転ぶと、三年しか生きられないという言い伝えがある。
- 2 おじいさんが三年峠で転び、心配のあまり病気になる。
- 3 トルトリが、三年峠で何回も転べば長生きできるとすすめる。
- 4 おじいさんは、三年峠で何度も転ぶ。



6年 ぼくのブック・ウーマン □ 173~187

女の人は、学校や図書館が近くにない人々に本を届ける図書館員だったんだよ。



- 学校から遠く離れた、山のずっと高い所に三世代で暮らす少年、カルの物語です。
- 1 父さんの仕事を手伝う長男のカルは、妹のラークがひまさえあれば本ばかり読んでいることを不満に思っていた。
- 2 ある日、本をいっぱい詰め込んだ荷物を持った女の人がやってきた。以後、その人は、本を無料で取り換えるために、定期的にやってくるようになる。
- 3 ラークに文字の読み方を教わったカルは、女の人に少しだけ本を読んではげた。

5年 やなせたかし—アンパンマンの勇気 □ 171~183

- アンパンマンの作者、やなせたかしの伝記です。
- 1 幼い頃に父を亡くし、弟と二人で高知の親戚の家で育ったたかしは、漫画家になりたいという夢を持つ。
- 2 徴兵された戦場で悲惨な体験をし、帰ってきたたかしは、弟の戦死を知る。
- 3 「正義」について考え続けるたかし。「本当の正義とは、お腹がすいている人に、食べ物をつけてあげることだ。」
- 4 漫画家になったたかしは、絵本「あんぱんまん」を出版する。

